XTRONS

型番:TD697G

取扱説明書

XTRONS 車載 DVD プレーヤーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読み下さい。お読みになった後も、大切に保管してください。

安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
⚠ 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ 注意（警告を含む）しなければならない内容です。	❗ 必ず行っていただく強制の内容です。
🚫 禁止（やってはいけないこと）の内容です。	

MN-001-002

接続・取り付け

⚠ 警告

🚫 禁止

本機は、DC12V⊖アース車専用です

24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

⚠ 警告

🚫 禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

❗ 強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず取付専門店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す

⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

⚠ 警告

強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。

強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける

歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

⚠ 警告

禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。

⚠ 警告

禁止

メディア挿入口に手や指、異物を入れない
ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない
発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない
思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の危険性があります。

分解禁止

分解や改造をしない
交通事故や火災、感電の原因となります。

強制

実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける
テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア）のヒューズを使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

⚠ 注意

禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。

強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

指のケガに注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する
ケガの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告

強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

目次

使用上のご説明 2
外観と各ボタンの働き 4
メインメニュー 5
ラジオ 7
DVD/SD/USB 操作 8
ブルートゥース 12
ブルートゥース音楽 14
iPod 15
設定 16
リモコン 18
故障かな？と思ったら 20

使用上のご説明

本書で使っているイラストや画面例、付属品は、実際の製品と異なることがあります。
実際の製品の画面や、付属品は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
詳しくは販売店商品ページのポスターにご参照ください。

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出ることがあります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。→「仕様」(P35)
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面を強く押さないでください。故障する恐れがあります。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- スマートフォンをお使いになるときは、スマートフォンのアンテナを液晶画面に近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。
- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

LED バックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。
- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- ぬれたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 以下マークのついたディスクをご使用ください。

DVD-Video

CD

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。
- ディスクを持つときは、記録面（虹色に光っている面）を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。

- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。
- ディスクには、市販のラベルなどを貼りつけないでください。
  - ー ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
  - ー 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。

・製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。
- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

保管上のご注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

外観と各ボタンの働き

1：SD カードスロット
2：ディスク挿入口
3：ナビ地図カードスロット
4：リセットボタン
不具合が出る場合、このピンホールを細長いもので軽く押すと問題が解消する可能性があり、デッキが初期化されます。※
5：マイク
6：イジェクト＆ナビモード切替ボタン
切替機能はメインメニュー画面にいる際のみ有効となります。
7：電源ボタン＆ミュートボタン
3 秒以上押すと、電源を切る、入れることができます。操作中一回押すと、ミュートモードになります。もう一回押すと、ミュートモードが解消します。
8：リモコン IR 受信部
9：音量 +
10：音量 -
11：USB スロット

※：デッキが工場出荷際の設定に戻るため、操作に関する必要な情報は事前に控えておいてください。

メインニュー

1、ナビゲーション
2、ラジオ
3、TV（無効）
4、USB
5、DVD
6、SD カード

7、ブルートゥース音楽
8、ネットワーク
9、設定
10、AUX
11、IPOD
12、ブルートゥース
13、スタンバイ
14、日付＆時間表示
15、スピーカー音量

各モードに入る

1 ー 15 アイコンのをタッチすると、それぞれのモードに入ります。

スタンバイ

音楽や、ラジオを聴きながら、画面を見る必要がない時、このボタンを押して、スタンバイの時計画面になり、電力を節約し、運転視線への影響もなくなります。一回画面を押すと、メインメニューに戻ります。

ラジオ

1、バンド切替
バンドをタッチすると、以下のバンドに切り替えます。
FM1>FM2>FM3>AM1>AM2
2、周波数自動検索
3、モノナル／ステレオ切替
4、遠距離／ローカル切替
5、ラジオモードの壁紙選択（4 色あり）
6、TA（交通情報）
7、PTY（プログラム分類）
8、AF（RDS 機能用。無効）
9、手動検索
10、お気に入りチャンネル

検索されたチャンネルがお気に入りの場合、数字 01-06 の任意 1 つのボタンを 2 秒間を押すと、保存することができます。次回登録されたチャンネルを押すと、お気に入りチャンネルが放送されます。

DVD/SD/USB 操作

DVD プレーヤー

！ご注意：

1. 取り付けを行う前に、本機の上部にある 2 つの保護ネジをお取り外しください。取り外されていない場合、ディスクの挿入ができません。

2. 電源配線中の「ブレーク(BRAKE)」配線を、アース、あるいは直接バッテリー電源マイナス極に繋げない限り、車走行中に DVD などの映像が映りません。

ディスクを挿入し、自動に DVD モードに入り、DVD 装置の中にディスクがある場合、メインメニューに【DVD】アイコンを押して DVD モードに入ります。「イジェクト」ボタンを長く押すと、ディスクが排出されます。
暫くの間スクリーンへの操作がない場合、スクリーンにある操作バーが表示されなくなります。もう一回操作バーを呼び出すには、スクリーンを一回タッチしてください。

1、前へ
前の曲を選択します。
2、次へ
次の曲を選択します。
3、一時停止／再生
このボタンをタッチすると、一時停止になり、再度タッチすると、正常再生に戻ります。
4、巻き戻し
き戻しの倍数 [x2x4x8x20] を調整できます。
5、 早送り
早送りの倍数 [x2x4x8x20] を調整できます。
6、 停止
このボタンをタッチすると、再生が停止になり、再度タッチすると、始めから再生します。
7、 チャプター選択
ディスクの目次の確認、選択ができます。
8、 ピクチャー・イン・ピクチャー（無効）
9、 次のページ
次のページに入ります。
10、リピート
すべてリピートタイトルリピート→チャプターリピート→リピートオフの
選択ができます。
11、AB リピート機能（部分反復）
再生中、1 部分のみをリピートします。
12、再生情報
現在再生中のチャプター、時間などが確認できます。
13、DVD OSD 言語
多種言語搭載のディスクを再生する場合、OSD 言語の選択ができます。
14、多重音声放送選択
多重音声搭載のディスクを再生する場合、音声の選択ができます。
15、音声チャンネル選択
モノラル L、モノラル R、ステレオ、この 3 つの音声チャンネルから選択できます。
16、曲目選択
曲目の数字を入力し確認後、選定する曲目が再生します。
17、画面移動
画面がズームモードである場合のみ、移動ができます。
18、戻る
このボタンをタッチすると、第 1 ページに戻ります。

USB・SD

USB メモリー／イクロ SD カードを挿入し、メインメニューの「USB」／「SD」アイコンをタッチして、USB ／ SD メニューに入ります。

1、音楽ファイル
2、画像ファイル
3、映像ファイル
4、前のページへ
5、次のページへ
6、ファイル選択
　ファイルの番号を入力して、選定されたファイルを再生します。

CD ダイレクト録音（仮想 CD）機能

仮想 CD 機能とは？

CD ダイレクト録音終了の USB メモリーを、本体の「Virtual CDC 6Disc port」スロットに挿入し、実装の CD/DVD/BD ドライブではないにもかかわらず本機では「CD ドライブ」と認識され、実装の CD/DVD/BD ドライブと同じように使用できるドライブです。実装のドライブと区別するために「仮想 CD ドライブ」と呼びます。

※録音手順案内

1、市販 CD ディスクを入れて、USB メモリーを、本体の「Virtual CDC 6Disc port」スロットに挿入します。
2、メインメニューの「DVD」アイコンを押して、「CD ダイレクト録音」を押してください。
3、録音開始の赤ボタンを押してください。CD ダイレクト録音が開始します。
4、録音完了後、CD ディスクを取り出しても、USB メモリーがそのまま「Virtual CDC 6Disc port」スロットに挿入している以上、6 つの仮想 CD ディスクからお気に入りの曲チャプターをお選びいただけます。

ブルートゥース

ブルートゥース通話

Bluetooth 接続されたスマートフォンとハンズフリー用マイクを使って、ハンズフリー通話ができます。

※ Bluetooth 対応のスマートフォンをご用意ください。ただし、機種によっては本機との接続に制限が発生する場合がありますのでご注意ください。

スマートフォンから本機を登録・接続する必要がある場合は、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

1、接続（ペアリング）

※　ペアリング手順案内

a. 相手側のブルートゥースデバイスを、本機 1m 以内に置き、本機の「デバイス検索」（虫眼鏡のアイコン）ボタンを押し、相手側デバイスを検索します。
b. 同時に、相手側デバイスのブルートゥースメニューに本機を検索します。（本機は「CAR KIT」あるいは「XTRONS」と表示されます。）
c. 相手側デバイス在が検出された場合、デバイス名を押してペアリングします。パスコードの入力が要求される場合、「8888」を入力します。ペアリング完了です。

2、通話

「ダイヤル」アイコンをタッチして、ダイヤル通話できます。
または、「電話帳」アイコンをタッチして、連絡先をタッチして通話します。

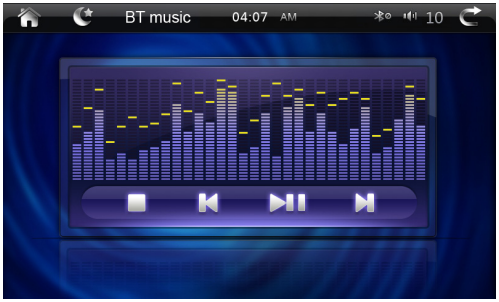
3、通話履歴

(1) すべての通話履歴　(2) 発信履歴　(3) 着信履歴　(4) 不在着信履歴

4、設定

ブルートゥースペアリングパスワードを設定できます。
着信を自動応答にするかどうかも設定できます。

ブルートゥース音楽



デバイスと商品をペアリング完了後、デバイス内部の音楽を再生することができます。

IPOD 操作モード（オプション）

1、前へ
　前の曲を選択します。
2、一時停止／再生
　このボタンをタッチすると、一時停止になり、再度タッチすると、正常再生に戻ります。
3、次へ
　次の曲を選択します。
4、曲・ファイル選択
5、プレイリストリピート
6、 ランダムリピート

設定

1、ナビ設定

下記の手順に従ってナビを起動してください。
①付属の地図カードを商品本体右上の Map Card スロットに挿入します。
②右の虫眼鏡のアイコンをタッチして、ルート「¥StorgaeCard¥Easyway.exe」※を選択し、OK をタッチして下さい。
③ メインメニューの「ナビゲーション」アイコンをタッチして、ナビを起動します。

2、時間設定

スライド操作で、時間と日付設定できます。12 時間制と 24 時間制の 2 種類で表示できます。
「＜＜」と「＞＞」をタッチすると、タイムゾーンを選択できます。

3、音声設定

3.1 イコライザー設定
高音、中音、低音、ユーザー、ホール、ポップ、シネマ、ロック、クラシック選択できます。
3.2 前後左右スピーカーのバランス設定
「次へ」ボタンを押して、スピーカーバランス設定メニューに入ります。
車の前後左右スピーカーのバランス、ラウンドとデフォルト設定できます。

4、輝度調節

月と太陽マークのボタンを押して、画面の輝度調節できます。

5、言語設定

日本語、英語、中国語など 11 種類の言語選択できます。

6、オプション

ビープ音、ブレーキチェックの設定ができます。

7、壁紙設定
11 種類の壁紙選択できます。

8、ステアリングハンドル
ハンドル上のアイコンとステアリングモードでのアイコンをペアリングして、ハンドルでコントロールできます。

9、起動ロゴ
28 種類のロゴ選択できます。

10、スタンバイ設定
電力を節約するため、スタンバイ機能をぜひご活用ください。このメニューで、スタンバイ時間設定もできます。

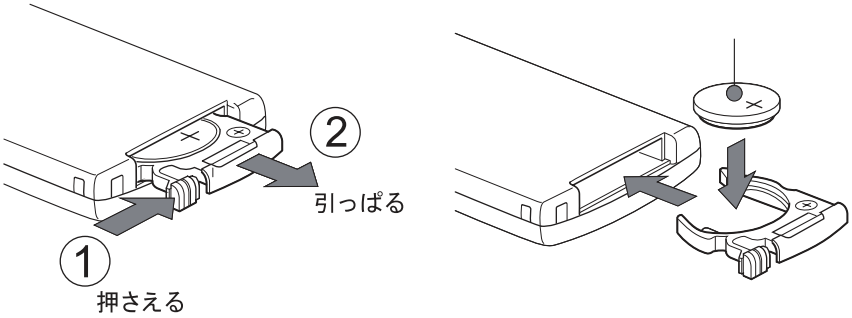
11、ラジオ受信地域
ラジオ受信地域選択できます。この機種は「日本」デフォルトしますが、ラジオ受信できない場合、ラジオ受信地域を「日本」に選択したかどうかをご確認ください。

12、システム情報
「初期設定」で商品を出荷前の状態に戻ります。
「タッチ校正」でタッチスクリーンを校正することができます。

リモコン

電池交換

リモコンの操作範囲は短縮になり、或は操作機能がなくなった場合、新電池を交換して下さい。交換する前に電池の極性を確認して下さい。



ボタン	機能
電源ボタン（ ）	電源入れる／切る
イジェクト（EJECT）	ディスクを挿入、排出
SRC	モード切替
HOME	ホームページに戻る
ON/UP	スクリーン角度調整
⏮ / ⏭	チャンネル／音楽の／早送り／巻き戻しコントロール
VOL-/VOL+	ボリューム調節
MENU	メインニューに戻る
MUTE	ミュート
BAND	ラジオモードでバンド切替、DVD／CDモードで再生停止
方向ボタン◂▾▴▸	選択されたメニューに入る
入る、確定	選択されたメニューを確認し、入る
SEL	音声設定
AMS	ラジオチャンネル自動保存
OSD	再生時間表示
⏯	再生／一時停止
ZOOM	ズーム/ブルートゥースモードで電話かける＆出る
ROOT	ＤＶＤメインメニューに戻る/ブルートゥースモードで電話切るボタン
1.2.3.4.5.6.7.8.9.0	数字ボタン
PBC	ＶＣＤメインメニューに戻る
SETUP	設定モードに入ります
SEARCH	ラジオモードで自動検索
AUDIO	オーディオ設定
ANGLE	DVD角度調整
REPEAT	リピート

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

Q：ナビゲーションが作動しません。

A：GPSルートを設定する必要があります。
下記の手順に従ってナビを起動してください。
① 付属の地図カードを商品本体右上の Map Card スロットに挿入します。
② 右の虫眼鏡のアイコンをタッチして、ルート「\StorgaeCard\Easyway.exe」※を選択し、OK をタッチして下さい。
③ メインメニューの「ナビゲーション」アイコンをタッチして、ナビを起動します。
※地図カードによってルートが違う場合もありますので、詳しくは商品情報ポスターにご参照／販売先にお問い合わせください。

Q：GPS 画面に「No Signal」と表示します。

A：(1) ナビアンテナをできるだけ受信いい所(ダッシュボード前)に置いてください。
(2) ナビアンテナに破損／接触不良があるかどうかをご確認ください。

Q：電源が入りません。

A：(1) 電圧と電流の安定をご確認ください。(最低 12V の電圧、5A の電流が必要)
(2) 配線方法をご確認ください：赤コード：ACC(アクセサリ)に繋ぎ、黄色コード：バッテリー電源のプラス極に繋ぎ、黒コード：電源のマイナス極に繋ぎます。
(3) 配線のヒューズが飛びましたかどうか、接触不良があるかどうかをご確認ください。
(4) 商品を安定化電源に接続してみてください。
(5) 商品をリセットしてみてください。(「RES」/「RST」/「RESET」と表示するボタンを細長もので軽く押してください。)

Q：リモコンが効きません／リモコン操作で本体が反応しません。

A：(1) リモコン後側の電池保護シートをお外しください。
(2) 電池を交換してみてください。
(3) 本商品とリモコンの間に障害物がないよう、商品の発信源に向かって操作してみてください。
(4) リモコンの赤外線ヘッドに向かって携帯カメラを使って写真撮りの状態にしてください。リモコンの任意ボタンを押して、カメラを通して赤外線が見えるかどうかをご確認ください。(見えない場合はリモコンが不良ということです。)

Q：タッチパネルが反応しない／反応が悪い。

A：「タッチ校正」でタッチスクリーンを校正してください。

Q：ラジオが受信できません。

A：(1) ラジオ受信地域を「日本」に選択してください。
(2) ラジオアンテナに破損／接触不良があるかどうかをご確認ください。

Q：DVD ディスクが入れません。

A：商品上部 2 つの保護ねじをお取り外しください。(保護ネジがある場合)

Q：No Disc と表示しディスクを読み込みません。

A：(1) 数枚他の市販正規 CD ／ DVD ディスクを挿入してみてください。
(2)DVD ディスクをクリーニングしてください。
(3) ディスクの向き方を変更してみてください。
(4) 本商品再生可能拡張子対応のディスクをご利用ください。(※再生可能の拡張子はポスターにご参照ください。)

Q：DVD/TV などの画面が表示異常：WARNING PLEASE STOP WATCH VIDEO PLAYER

A：車走行に安全のために、ブレーキ信号用配線をサイドブレーキに接続すれば、車走行中に映像が映れません。ブレーキ信号用コードをアースか、直接バッテリー電源マイナス極に繋げば、車走行中にも映像が映れます。

Q：音跳びとか画面点滅、白黒、乱れとかしています。

A：本体をリセットしてください、そしてメニューに入ってビデオ制式(AUTO、PAL、NTSC)を調整してみてください 。

Q：再生中ノイズが入っています。

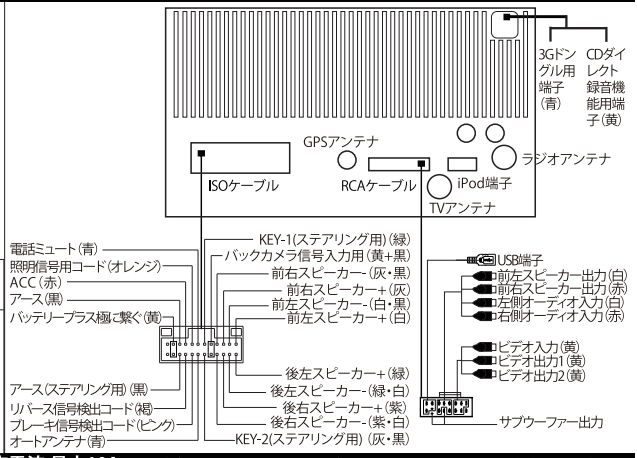
A：音声の信号出力端子をちゃんとアースに接続してください。(アースに接続とはバッテリの陰極或いは車にある金属フレームに繋ぐことです 。)スピーカー配線が他の配線と干渉しないようよく整いてください。

Q：USB が認識できません / 中のファイルが再生できません。

A :USB の容量が 32GB 以下でいますようお願いいたします。一つのファイルが 4GB を超えないよう、.exe 等のファイルがいないようご注意ください。USB メモリスティックのファイルシステムが FAT ／ FAT32 でありますようご確認お願いいたします。後側／前側の USB ケーブルを通して接続してみてください。

製品コード:TD697GY XTRONS® **配線図**

対応電圧	スピーカーのインピーダンス	アース
13.8V	4-8Ω	



対応電圧:10.8-15.8V　対応電流:最大10A　(ブレーキ信号用コードをバッテリー電源マイナス極に接続下さい。)